

日本ユマニチュード学会

第7回学会総会

2025年9月27日(土)・28日(日)

国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区)

同時開催 生存科学研究所共催 市民公開講座



『多職種で取り組む組織のユマニチュード®』 ～施設、病院、地域それぞれの課題と展望～

日本は未曾有の超高齢化社会に直面し、医療の現場においては認知症患者や超高齢者の増加が顕著に見受けられる。医療現場へのユマニチュード(高齢者及び認知症患者のケア技法ならびに哲学)の普及は、これらの患者のみならず、医療従事者がやりがいを感じ、バーンアウトの予防にも寄与することが期待される。今回の学会においては、各現場レベルでこの課題を共有し、その解決策を模索することにより、ユマニチュードの更なる普及を目指したい。

9月27日(土)～28日(日) 学会総会

学会総会:シンポジウム①

『どうしてこんなに米国老年科医が
ユマニチュードに“はまった”のか?』

日本の未来を見据え米国で老年医学の臨床トレーニングを受け、医師として活躍した後に帰国、日本においても老年科医として活動する3人の医師が、それぞれの形でユマニチュードに触れ、はまり、その各施設・大学での導入を試みている。米国老年科専門医3人の視点によるユマニチュードの課題、魅力、可能性について議論を行なう。

シンポジスト

関口 健二(市立大町総合病院 内科部長)
狩野 恵彦(厚生連高岡病院 総合診療科・感染症内科診療部長)
岩田 勲(産業医科大学 医学教育改革推進センター長)

座長

片山 充哉(国立病院機構東京医療センター 総合内科・感染症内科医長
/日本ユマニチュード学会理事)

学会総会:共催及び開会の挨拶

高見沢 愛弓(国立病院機構東京医療センター 看護部長)

学会総会:大会長講演

『ユマニチュード 点から線に繋げるために 今後の展望』
片山 充哉(国立病院機構東京医療センター 総合内科・感染症内科医長
/日本ユマニチュード学会理事)

学会総会:基調講演

『新たな健康・医療戦略「情報医療」としてのユマニチュード』
本田 学(国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部長)

学会総会:シンポジウム②

『研修と認証で現場はどう変わったか?各施設からのリアルボイス』

シンポジスト

金沢 小百合(IGM-Japon合同会社/ユマニチュード認定チーフインストラクター)
濱田 誠子(前 医療法人社団れいめい会 介護老人保健施設つくしの里 療養部長)
杉本 智波(重喜会 南福岡脳神経外科病院/ユマニチュード認定チーフインストラクター)
田邊 由美(医療法人社団東山会 調布東山病院/ユマニチュード認定インストラクター)

座長

林 智史(国立病院機構東京医療センター 総合内科・感染症内科)

※最新の情報は、公式ホームページをご確認ください

9月28日(日) 13:30～ 市民公開講座

イヴ・ジネスト氏(ユマニチュード考案者)による講演を行う予定です。

※市民公開講座は、事前にお申込みを頂ければ、どなたでも無料でご覧いただけます。

プログラム詳細・
参加申込はこちら

要事前申込

学会総会
参加費

会員

3,000円
(非課税)

非会員

5,500円
(税込)

学生

1,100円
(税込)



参加申込み・詳細は、公式ホームページをご確認ください。

<https://jhuma.org/soukai7/>

共催:国立病院機構東京医療センター

市民公開講座共催:公益財団法人 生存科学研究所

会場の駐車場は一般の方の利用はできません。公共交通機関を利用してご来場ください。